

3.クラブ会長方針と計画

「 THE MAGIC OF ROTARY 」

2024-25 年度クラブ会長 大原 浩行



■私は1997年にチャーターメンバーとして当クラブに入会いたしました。諸事情ございまして2008年に幹事を最後に退会し去年再び再入会しました。

ロータリークラブの運営が

大分変化し、出席義務、例会回数、職業分類等の柔軟性が大きくなり活動しやすい団体になった気がします。しかし実情は会員数が9名と地区の中でも下位の状態となっております。PETS で大高司郎ガバナーからも世界的に会員の減少が続いて地区でも新規会員 100 名と目標が出されました。当クラブでは最低でも2桁10名、出来れば12名程度に増やしたいと思っております。やはりそれ位の会員数がないとロータリークラブとしての事業の継続運営や会員増強のモチベーションも上がらないのではないのでしょうか。もちろん新規会員の獲得による増強が主になるところですが現会員の退会防止も大切な事です。姉妹クラブや友好クラブを巻き込んだ交流、親睦事業、またクラブ内親睦活動や外部卓話、他団体との交流等を活用し「楽しい例会」を運営して行きたいと思っております。ステファニー A.アーチック RI 会長の次年度テーマは「ロータリーのマジック」THE MAGIC OF ROTARY です。龍ヶ崎中央 R.C にもマジックを起こし12名いやそれ以上の仲間を築いて行きましょう。

◇クラブ運営管理

DEI の認識と推進、平和構築の為の「四つのテスト」の実践、クラブ優秀賞へのチャレンジ

◇会員増強 3名

会員増強は最大の課題です。DEI を取り入れ全会員が協力しクラブを活性化し他団体との交流親睦、クラブ内親睦を充実し魅力ある活動をもって会員増強を図る。

◇社会奉仕

市社会福祉協議会との連携を密にして後援、協賛、事業協力し地域に浸透して行く。

◇青少年 国際奉仕

RYLA 参加者を広く募り参加を推進する
姉妹クラブであるグアムサンライズロータリークラブの「クリスマスドロップ」事業に参加する。

◇ロータリー財団

年次寄付 150ドル/人 ポリオ・プラス 30ドル/人
ベネファクター クラブ一人以上
の会員の協力を目指す。

◇米山奨学会(一人当たり)

普通寄付 5千円(年会費から支出)
特別寄付 2万円 の会員の協力を目指す。

◇その他

10 年目を迎える友好クラブ苫小牧東 R.C との共同事業で苫小牧の北洋大学の留学生と当クラブの米山奨学生「ミリーさん(ガーナ)」と流通経済大学の留学生が北洋大学にて「私のお国自慢」という留学生同士の交流を兼ねた発表会で国籍や文化の違いを超えて相互理解国際交流を深め、異文化を尊重できる社会を国際交流の原点として取り組みたいと思います。

